

令和5年度分科会活動報告

テレナーシング分科会

Telenursing SIG

分科会長 亀井 智子

聖路加国際大学大学院

1. 分科会の目的

看護職が行うテレナーシングの実践・教育・研究を確立し、普及するための調査研究、および情報発信と交流等を行う。

2. 令和5（2023）年度活動実績と成果

- ・ 書籍「テレナーシング -その理論と実践-（亀井編著、森山・山本・金盛・加澤分担執筆、照林社）」を出版した。
- ・ 第27回 JTTA 学術大会分科会セッション「テレナーシングが拓く、様々な対象の在宅療養の実現」を企画し、森山、加澤が座長を担当した。
- ・ 講演 Long-term care for older adults with chronic conditions via telenursing (JTTA/JICA Knowledge Co-Creation Program) 亀井が担当し、聖路加国際大学・聖路加国際病院のツアーを行った。
- ・ 講演 テレナーシングの実践(日本在宅ケア学会委員会セミナー) 亀井が担当した。
- ・ 講演 テレナーシングの開発と実践(令和5年度医療関連産業支援セミナー) 亀井が担当した。
- ・ 基調講演 Telenursing Development for Older adults with Chronic Conditions and Nurses' Education in Japan (The 5th West China International Nursing Conference) 亀井が担当した。
- ・ 講義 テレナーシングの開発と実践(宮崎大学) 亀井が担当した。

3. 令和6（2024）年度活動計画

- ・ 第28回 JTTA 学術大会において、テレナーシング関連のシンポジウムを開催する。
- ・ その他、テレナーシングの国内看護実践の普及のため、教育活動、情報提供、国内外の学会等における発信を推進する。